令和３年度（2021 年度）事業報告書

認定NPO法人くるみ－来未

令和３年度（2021 年度）事業報告

認定NPO法人くるみ－来未
（以下、「くるみ」と省略）

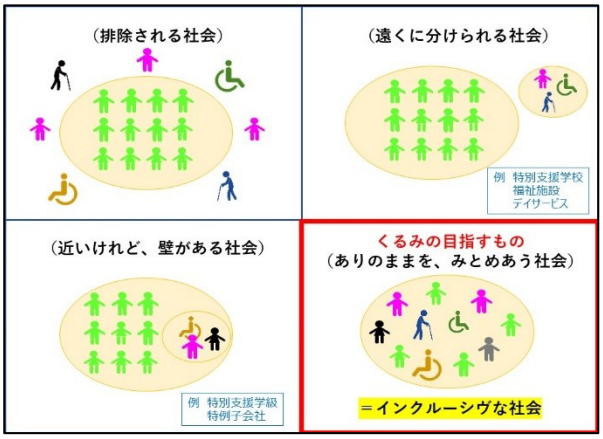
はじめに

くるみは昨年度、川崎市より認定を取得したこともあり、今後はさらに幅広く情報公開を進め、より市民に開かれた形でコミュニティづくりを進めていきたいと考えています。何よりそれが、くるみのビジョンである「インクルーシヴな社会づくり」への近道と考えるためです。そのため、一般市民の方にとって ①わかりやすく ②読みやすく ③透明性の高い事業報告書を公開したいと考え、今年度から形式を変更しました。

初めてくるみの事業報告書を目にする方に向けて、くるみの簡単なご紹介をします。一言で言うと、「自閉症支援を通したインクルーシヴな社会の実現」を目指して事業活動を展開しています。

①くるみの紹介

②インクルーシヴな社会とは



①の通り、活動歴は８年、2021 年６月に川崎市より認定を取得しました。正会員数は 25 名（2022 年５月現在）、活動参加者数は延べ 2,500 人超となっています。②にインクルーシヴな社会のイメージ図を示しています。くるみの活動では、この図の右下のような場面、すなわち「（本人がそう望むのであれば）誰もがその場に参加でき、それぞれの『ありのままをみとめあう社会」を、もっと増やしていきたいと考えています。そのような考え方のもと、イベントや事業活動には障害のある当事者と家族だけでなく、（障害の有無に関わらず、）様々な方にご参加いただいています。

正会員は、障害のある子を育てる親を中心に、特別支援学校の教員、社会保険労務士、就労支援員などの専門家や市民活動家等です。自治体からの補助金によって障害福祉サービス事業を運営している訳ではなく、助成金や寄附金を主な原資とした自主事業を展開しています。インクルーシヴな社会の実現というビジョンに賛同して下さる多くの方からの応援とご支援を頂きながら、これまで８年間運営してきました。

1. 報告期間　令和3年(2021 年)4 月 1 日から令和4年(2022 年)3 月 31 日 【第 8 期】

2. 2021 年度の事業活動(総括)

全体的には、前年度に続き、とても難しい運営を迫られた一年となりました。元々、くるみで実施するイベントや事業活動には大変な手間がかかっています。企画や下見、数々の打ち合わせ、終了後のふりかえりなどを必ず行っています。このように手間をかけることで良い事業活動が育っていくものだからです。ところが、コロナ禍により、企画した内容がその通りに実行できなかったり、中止に追い込まれたりすることが増えています。事業活動のハードルがとても上がっていて、これは本当に由々しき事態です。消毒や手洗い、体温や体調チェックなどの感染症対策はもちろんのこと、度重なる企画の変更やキャンセルへの対応、実行か中止かの判断など、運営者としてとても難しい舵取りを迫られています。

そんな逆境が続く中、理事会・事務局・スタッフ・参加者・応援者のみなさんの力をたくさんお借りして、喫緊の状況にある人に必要な事業を届けられるよう奮闘努力した一年となりました。事業活動の回数／従事者数／参加者数ともに、前年度より大幅に増えた一年となりました。大変でしたが、何とか無事に一年を終えることができ、心からホッとしています。改めて関係者の皆さまに感謝いたします。

【くるみの嬉しい5大ニュース】

①認定を取得！ … 川崎市で 12 番目の認定NPOに。長年の努力が認められ感謝。我々の目指すビジョンは社会全体で取り組むべきこと。今後も幅広く応援者や支援者の増加に繋げていきたい。

②上映会の実施 … 2021 年 3 月に続き、12 月にも「みんなの学校」上映会と茶話会を実施。茶話会では、涙なしでは語れず。キーワードは「まずは半径5メートルからできることを！」。

③親の思い研修 … 昨年度に続き、川崎市社協が主催する研修に講師登壇。50 人以上が参加。親の生の声を多く取り入れた内容への反響は大きく、社会的インパクトの大きさを再認識。

④ｲﾝﾀｰﾝｽﾀｯﾌ活躍 … 山田雄大さんによる八面六臂の大活躍が目覚ましかった。昨年度,今年度と大学生インターンスタッフの力にはめちゃくちゃ助けてもらい、本当にありがとうございました。

⑤東京新聞連載 … 2021 年 3 月～6 月、東京新聞川崎版に 11 回の連載が掲載。くるみ設立の経緯と事業活動にかける思いを多く方に読んで頂き、また新たな輪が広がった。メディアの力は大きいことを改めて実感。記者のＩさん、本当にありがとうございました。

【くるみの悲しい3大ニュース】

①認定記念の会が中止 … お祝いと感謝の気持ちをみんなで分かち合うため、チームを編成して企画に動いたが、コロナ禍により中止に。招待状まで出したのに･･･(´;ω;`)ｳｳｳ

②おもちつきが中止 … 昨年度は中止に追い込まれ、今年度こそ！と企画したものの、再び中止に。オミクロンには本当に困った。代わりに黒川さんのご助力による焚き火カフェの開催で一矢報いる。

③青年たちの巣立ち … これは本来「嬉しいニュース」である。でも、ともに活動してきた仲間たちとのお別れはやはり寂しい。くるみを通して生まれた出会いと別れ。これらは何物にも代えがたい宝物であり、これからも大切にしていきたい。

3. 2021 年度の事業活動(詳細)

※ 以下の事業活動報告では、各事業の名称を次の通り表記しています。
「 自閉症スペクトラム当事者等のライフスキル・就労・成年後見に関する情報提供事業」 ⇒「情報提供事業」
「インクルーシヴな地域社会づくりに寄与するための事業収益」 ⇒「インクルーシヴ事業」
「自閉症スペクトラム当事者等のライフスキル向上に寄与するための活動支援事業収益」 ⇒「ライフスキル事業」
「自閉症スペクトラム当事者等に関する普及啓発事業収益」 ⇒「普及啓発事業」

① 情報提供事業

費用額: 0円　従事人数: 計10名　参加人数: 55名

事業内容	日にち	時間	従事者人数	参加人数	場所	対象者
オンラインおやじの会 (父親同士の交流会)	2021年9月18日	20:00～22:00	2	6	各自自宅より	知的・発達障害のある子の父親
	2021年11月13日	20:00～21:30	1	6		
	2022年1月29日	20:00～22:00	2	7		
	2022年3月12日	20:00～22:00	2	4		
ルポ「自閉症と生きる」シェア会	2022年2月19日	10:00～11:30	3	32	くるみのおうち/各自自宅より	一般市民

〔オンラインおやじの会〕

総会時点では具体的に計画していなかった活動として、オンラインおやじの会を計 4 回実施した。障害のある子を育てる父親同士の交流って、まずは飲み会から始まる。それがコロナ禍により全くなくなってしまった。ひたすら我慢、待てど暮らせど、コロナ禍は去らない。新しい生活様式って言われても…。飲み会ができないなんて！そんなおやじたちの声に応えて、やってみました「オンラインおやじの会」と称した情報交換会(飲み会)。オンラインということで若干の慣れが必要なものの、同じ立場の親同士で語り合い、近況を伝えあい、わからないことを聞いたり教え合ったり。そんな場があることの大切さをやるたびに実感します。あぁ、やっぱりこういう場って楽しいなって改めて思う。今後も無理なく、ゆるゆると続けていきたい。参加希望の方はお気軽にどうぞ！

〔ルポ「自閉症と生きる」シェア会〕

もう一つの大きな柱が、今年度のインターンスタッフ大学生・山田雄大さんによるルポのシェア会。参加者 35 名と大盛況(当日参加者＋見逃し配信申込人数)。雄大さんが太田親子と福祉事業所への取材、くるみの活動への参加から作成したルポ「自閉症と行きる～求められる理解・支援とは～」は、社会環境の厳しさ、本人や家族の苦悩、事業所の視点、行政や制度の限界、そして本人・家族が地域でその人らしく豊かに暮らせる社会を創るため、私たち一人ひとりができることは何か？を深く突き詰めてくれた素晴らしい内容。ぜひ多くの人に知ってもらいたい！という思いからシェア会を行う運びになりました。反響はとても大きく、雄大さんは間違いなくくるみの歴史に大きな1ページを刻んでくれた。ルポ全文はこちらのリンク(或いは以下 URL)からお読み頂けます。ぜひご一読ください。

https://wasegg.com/archives/4641?fbclid=IwAR2_bbOaof-ln8KgbY6mqnYjyXa-KU2LVVz5ECSqBkKeuyOPDldi2g70Ifg

② 普及啓発事業

費用額: 11,703円　従事人数: 計5名　参加人数: 51名

事業内容	日にち	時間	従事者人数	参加人数	場所	対象者
発達障害研修	2022年11月10日	10:00～12:00 14:00～16:00	5	51	AM: エポックなかはら PM: 各自自宅	一般市民

川崎市社協主催の発達障害研修「親の思い」に登壇。計 5 名の親が登壇し、たっぷり 2 時間「親の思い」をお伝えする場となりました。午前は社協会議室での対面、午後は Zoom によるオンラインにて、合計 51 名が参加。満足度は非常に高く、各方面で反響が非常に大きかった。「親の思い」という視点は絶対に必要であることを実感させられた、現在のくるみの集大成となる研修会となりました。

あまり表立って言うことではありませんが、本研修会を実施するまでに 3 回の打ち合わせを

実施。本番の一週間前にリハーサルも実施。イベントの成否は「事前準備が８割」と言われるが、その意味で事前準備が完璧だったことが今回の成功の最大の要因とふりかえっている。チームの皆さんには大きなご負担をおかけしましたが、おかげさまで素晴らしい成果に結びつけることができました。チームの皆さま、主催の川崎市社協さま、そして誰よりご参加頂いたみなさまにも、心より感謝申し上げます。

③ ライフスキル事業

費用額: 312,342円　従事人数: 計56名　参加人数: 92名

事業内容	日にち	時間	従事者人数	参加人数	場所	対象者
はらぺこキッチン（青年の料理教室）	2021年5月9日	11:00～15:00	3	4	くるみのおうち	自閉症スペクトラム当事者等および保護者
	2021年6月12日	11:00～15:00	3	8		
	2021年11月14日	11:00～15:00	3	7		
プログラミング講座	2021年4月17日	14:00～16:30	3	5	くるみのおうち	自閉症スペクトラム当事者等および保護者
	2022年3月20日	14:00～16:30	4	4		
ティコさんのパン作り	2021年7月3日	13:30～15:30	5	7	くるみのおうち	自閉症スペクトラム当事者等および保護者、一般市民
	2021年7月10日	13:30～15:30	4	6		
黒川野外活動センターでのアウトドア活動	2021年5月23日	10:00～15:00	9	16	黒川青少年野外活動センター	自閉症スペクトラム当事者等および保護者、一般市民
	2022年2月13日	10:00～15:00	7	8		
ビーンツーバーチョコづくり	2021年10月23日	13:30～16:00	3	6	くるみのおうち	自閉症スペクトラム当事者等および保護者、一般市民
さちさんのお味噌づくり	2022年3月12日	13:30～16:00	3	6	くるみのおうち	自閉症スペクトラム当事者および保護者、一般市民
くるみ銭湯部	2021年9月5日	17:00～20:00	3	5	くるみのおうち/たから湯	自閉症スペクトラム当事者等および保護者、一般市民
	2021年10月10日	17:00～20:00	3	5		
	2022年3月26日	17:00～20:00	3	5		

事業活動としては、プログラミング体験、料理づくり、パンづくり、チョコづくり、味噌づくり、銭湯に行く会等。それって事業なの？という印象を持たれる方もいるかもしれません。本事業の目的は「本人のライフスキル（生きる力）向上に寄与するための活動を支援する（定款第５条より）」ことです。パッと見るとまったく一貫性のない事業の寄せ集めのように見えても、これは「その人」に合わせた活動を柔軟に行った結果であり、むしろ誇るべきことであると捉えています。押しつけの活動ではなく、あくまで「その人の思い」が起点にある活動。アンケートやふりかえり結果からも成果はしっかり出ており、一つ一つが「やってよかった」と心から思える大切な活動です。必要性の高い事業、やりたい＆やるべき事業を、仲間の協力を得ながらパッと行うことができる、小回りの効くNPOらしい事業活動であり、今後もこの流れは大切に維持したいと考えています。

④ インクルーシヴ事業

費用額: 2,700,450円　従事人数: 計51名　参加人数: 209名

事業内容	日にち	時間	従事者人数	参加人数	場所	対象者
みんなでカレーを食べる会	2021年6月27日	11:00～14:00	6	21	くるみのおうち	一般市民
	2021年10月17日	11:00～14:00	6	23		
	2021年12月19日	11:00～14:00	7	22		
	2022年2月27日	11:00～14:00	5	11		
みんなの学校上映会&茶話会	2021年12月11日	9:30～15:00	20	88	エポックなかはら	一般市民
ごえん楽市オンライン	2021年9月7日	19:30～21:00	1	12	かわさき市民活動センター/各自自宅より	一般市民
川崎中ロータリークラブ卓話	2021年10月26日	12:30～14:00	2	30	ホテル精養軒	ロータリークラブ会員
よろず相談	2021年8月2日	13:00～14:30	2	1	くるみのおうち	相談者（市民活動家）
	2021年9月25日	15:00～16:30	2	1		

〔みんなでカレーを食べる会〕

カレーを食べる会を４回行い、多くの新たな人の輪が広がり、交流の機会と笑顔を生み出すことができました。コロナ禍での開催ということでリスクが高い時期には中止としました。開催にあたっては感染症対策を万全にするようスタッフ一同で努めました。

〔みんなの学校上映会＆茶話会〕

12 月にはくるみで 3 回目となる「みんなの学校」上映会を実施しました。仕掛け人でもあるインターンスタッフの強い希望により、映画の感想を語り合う「茶話会」も実施。これがとても良い「語り場」となり、大変に深いお話ができ、新たな交流や共感の輪を大きく広げることができました。当日の運営スタッフの働きや統率もすばらしく、先述の研修会と同様に事前準備の大切さを実感。ご尽力頂いたボランティアスタッフのみなさま、ご参加頂いたみなさまには、心より感謝申し上げます。

〔その他〕

インクルーシヴな社会づくりにつなげるための事業紹介として、9 月にごえん楽市オンライン（主催: かわさき市民活動センター）、10 月に川崎中ロータリークラブの卓話でくるみの事業活動についてお話する機会をいただきました。ビジョンの実現に向けて、今後も市民活動センターや川崎中ロータリークラブとの連携・協働は今後も模索していきたいと考えています。

インクルーシヴな社会づくりにつなげるための相談支援事業として、「よろず相談」を 2 回実施しました。現時点では顧客層は限られていますが、インクルーシヴな社会づくりの担い手を増やすため本事業を今後も大切に育てていきたいと考えています。

6. 活動参加者／支援者に関する報告

活動への参加者、従事者、寄付者が増えている。コロナ禍の中、ご協力・ご参加頂いた皆さまに感謝するとともに、この良い流れをうまく継続していけるよう今後も尽力します。　※（　）内は前年比増減を示す

・活動参加者	415 名	（＋140 名）
・活動従事者	119 名	（+24 名）
・正会員数	25 名	（＋1 名）
・年間応援会員数	2 名	（±0 名）
・寄付者	79 名	（+7 名）

※ 活動参加者／活動従事者数は延べ人数

7. 事務局に関する報告

事務局は、組織の基盤として事業とのバランスを取りながら両輪で運営していく必要があります。くるみで行っている事業活動は多岐にわたり、事務局体制の強化は引き続き必要です。今年度は以下のような取り組みに注力しました。

〔事務・管理・組織基盤〕

・所轄庁（川崎市）、法務局、税務署、労務に関わる各種手続き
・認定取得および条例指定維持のための各種手続き
・税理士事務所との顧問契約を継続、サポートを受けながら税務会計処理を実施
・休眠預金を活用した助成金事業（NPO法人まちぽっとPecs事業）に伴う各種手続きとミーティング
・一般財団法人非営利組織評価センターによるベーシックガバナンスの第三者評価
・川崎SDGs認証制度に申請、ゴールドパートナーとして認証
・政府による支援金（一時支援金／月次支援金／事業復活支援金）への申請

〔くるみのおうちの管理運営〕

事業推進を支える役割として、今年度より新たな役割として「くるみのおうち管理運営責任者」と「イベント推進リーダ

ー」を新設。いずれの役割も事業推進には必要不可欠であり、各イベントや活動の成功の裏には事務局での大変な努力があります。綿密な打ち合わせや数々の事前準備は、忙しい中参加してくれる方たちが気持ち良い時間を過ごしてもらえるように、という思いの表れで、くるみの事業活動のコア中のコアです。これが現在の「くるみらしさ」を形作っており、大変な中ではありますが、何とか維持していきたいと考えています。

8. 財務諸表に関する報告

〔貸借対照表〕

・総資産は約 648 万円で、対前年比+130 万円となりました。有形固定資産の減価償却費が 34 万円となった一方で、事業復活支援金等や寄附金額は増加しました。

・負債は約 51 万円で、対前年比▲55 万円となりました。役員借入金等の返済等により負債が減少しました。

〔活動計算書〕

・収入の部は、助成金、会費・寄付、各種支援金による収入が主となり、合計約 535 万円となりました。なお、助成金は休眠預金を活用した助成金（NPO 法人まちぽっと Pecs 事業）が中心です。

・支出の部は、事業費・管理費ともに対前年・対予算比較で増額となり、約 350 万円となりました。これは想定より事業活動の回数を増やしたことによる人件費・消耗品費の増額が主要因です。

・単年度収支は+約 185 万円の黒字ですが、主に支援金による収益改善が理由です。この黒字分は今後事業活動を継続するため必要な使途に充てます。

・

法人名：　NPO法人くるみー来未

貸借対照表

2022 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,265,034		
前払費用	30,000		
流動資産合計		4,295,034	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
附属設備	1,988,058		
工具器具備品	28,037		
一括償却資産	168,100		
有形固定資産計	2,184,195		
固定資産合計		2,184,195	
資産合計			6,479,229
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	109,493		
預り金	2,857		
役員借入金	400,000		
流動負債合計		512,350	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			512,350
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,119,793	
当期正味財産増減額		1,847,086	
正味財産合計			5,966,879
負債及び正味財産合計			6,479,229

法人名：　NPO法人くるみー来未

財産目録

2022 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	53,010		
ゆうちょ総合口座	2,877,347		
ゆうちょ振替口座	1,063,942		
楽天（法人）（API）	223,637		
横浜（法人）（API）	47,098		
前払費用			
前払家賃	30,000		
流動資産合計		4,295,034	
2. 固定資産			
（1）有形固定資産			
附属設備			
水回り工事	1,988,058		
工具器具備品			
プロジェクター	28,037		
一括償却資産			
エアコン、PC2台	168,100		
固定資産合計		2,184,195	
資産合計			6,479,229
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払給与等	93,976		
freeeカード　ライト（Master）	15,517		
預り金			
源泉所得税	2,857		
役員借入金			
理事1名	400,000		
流動負債合計		512,350	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			512,350
正味財産			5,966,879

法人名：　NPO法人くるみー来未

活動計算書

2021 年 4 月 1 日 から 2022 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	71,000		
年間応援会員会費	10,000		
受取入会金	10,000	91,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	740,110	740,110	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	2,259,900	2,259,900	
4. 事業収益			
インクルーシヴな地域社会づくりに寄与するための事業収益	33,000		
自閉症スペクトラム当事者等のライフスキル向上に寄与するための活動支援事業収益	74,500		
自閉症スペクトラム当事者等に関する普及啓発事業収益	60,000	167,500	
5. その他収益			
受取利息	14		
雑収益	2,095,757	2,095,771	
経常収益計			5,354,281
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	947,405		
法定福利費	1,316		
通勤費	14,500		
人件費計	963,221		
(2)その他経費			
業務委託費	409,686		
印刷製本費	9,050		
会議費	82,412		
旅費交通費	85,854		
通信運搬費	97,263		
消耗品費	502,384		
水道光熱費	13,574		
地代家賃	324,000		
賃借料	89,400		
減価償却費	154,414		
保険料	20,560		
諸会費	906		
租税公課	1,587		
研修費	72,790		
支払手数料	176,233		
新聞図書費	9,697		
雑費	11,464		
その他経費計	2,061,274		
事業費計		3,024,495	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	98,395		
法定福利費	1,586		
人件費計	99,981		
(2)その他経費			
業務委託費	144,314		
会議費	2,493		
通信運搬費	9,395		
地代家賃	36,000		
減価償却費	186,187		
諸会費	1,094		
租税公課	1,913		
支払手数料	752		
雑費	571		
その他経費計	382,719		
管理費計		482,700	
経常費用計			3,507,195
当期正味財産増減額			1,847,086
前期繰越正味財産額			4,119,793
次期繰越正味財産額			5,966,879

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)　棚卸資産の評価方法

棚卸資産は低価法により評価しています。原価は平均法により算出しています。

(2)　固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3)　貸倒引当金の計上基準

貸倒引当金は、過去の実績、および滞留状況を基準に計上しています。

(4)　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

※ 以下の事業別損益表では、各事業の名称を次の通り表記しています。
「インクルーシヴな地域社会づくりに寄与するための事業収益」 ⇒「インクルーシヴ事業」
「自閉症スペクトラム当事者等のライフスキル向上に寄与するための活動支援事業収益」 ⇒「ライフスキル事業」
「自閉症スペクトラム当事者等に関する普及啓発事業収益」 ⇒「普及啓発事業」

科　目	インクルーシヴ事業	ライフスキル事業	普及啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益						
1.　受取会費	0	0	0	**0**	91,000	**91,000**
2.　受取寄附金	0	0	0	**0**	740,110	**740,110**
3.　受取助成金等	2,149,900	110,000	0	**2,259,900**	0	**2,259,900**
4.　事業収益	33,000	74,500	60,000	**167,500**	0	**167,500**
5.　その他収益	0	0	0	**0**	2,095,771	**2,095,771**
経常収益計	**2,182,900**	**184,500**	**60,000**	**2,427,400**	**2,926,881**	**5,354,281**
Ⅱ　経常費用						
(1)　人件費						
給料手当	939,185	6,203	2,017	**947,405**	98,395	**1,045,800**
法定福利費	1,183	100	33	**1,316**	1,586	**2,902**
通勤費	14,500	0	0	**14,500**	0	**14,500**
人件費計	**954,868**	**6,303**	**2,050**	**963,221**	**99,981**	**1,063,202**
(2)　その他経費						
業務委託費	397,631	9,097	2,958	**409,686**	144,314	**554,000**
印刷製本費	9,050	0	0	**9,050**	0	**9,050**
会議費	73,434	8,927	51	**82,412**	2,493	**84,905**
旅費交通費	41,158	42,696	2,000	**85,854**	0	**85,854**
通信運搬費	92,587	4,537	139	**97,263**	9,395	**106,658**
消耗品費	334,472	167,912	0	**502,384**	0	**502,384**
水道光熱費	13,574	0	0	**13,574**	0	**13,574**
地代家賃	324,000	0	0	**324,000**	36,000	**360,000**
賃借料	88,800	0	600	**89,400**	0	**89,400**
減価償却費	138,860	11,737	3,817	**154,414**	186,187	**340,601**
保険料	19,272	1,288	0	**20,560**	0	**20,560**
諸会費	815	69	22	**906**	1,094	**2,000**
租税公課	1,427	121	39	**1,587**	1,913	**3,500**
研修費	68,590	4,200	0	**72,790**	0	**72,790**
支払手数料	121,171	55,047	15	**176,233**	752	**176,985**
新聞図書費	9,697	0	0	**9,697**	0	**9,697**
雑費	11,044	408	12	**11,464**	571	**12,035**
その他経費計	**1,745,582**	**306,039**	**9,653**	**2,061,274**	**382,719**	**2,443,993**
経常費用計	**2,700,450**	**312,342**	**11,703**	**3,024,495**	**482,700**	**3,507,195**
当期経常増減額	**△ 517,550**	**△ 127,842**	**48,297**	**△ 597,095**	**2,444,181**	**1,847,086**

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 5,966,879円 ですが、そのうち82,231円は「市民社会強化活動支援事業(休眠預金を活用したPecs事業)」に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は 5,884,648円 です。

(単位:円)

内　容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備　考
心身障害児に関する先駆的事業助成	0	60,000	60,000	**0**	神奈川心身障害児福祉財団様より
グループ・団体活動助成金	0	50,000	50,000	**0**	幸区社会福祉協議会様より
地域食堂等の活動に対する寄附金	0	100,000	100,000	**0**	川崎中ロータリークラブ様より
健康と福祉のまちづくり活動に対する助成事業	0	50,000	50,000	**0**	メディホープかながわ様より
市民社会強化活動支援事業助成(休眠預金を活用したPecs事業)	0	2,099,900	2,017,669	**82,231**	NPO法人まちぽっと様より
合　計	**0**	**2,359,900**	**2,277,669**	**82,231**	

4.　固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

（単位：円）

科　目	期首取得価額	取得	減少	**期末取得価額**	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
付属設備（工事費）	2,295,678			**2,295,678**	307,620	**1,988,058**
工具器具備品（プロジェクター）	129,800			**129,800**	101,763	**28,037**
一括償却資産（エアコン、PC）	504,300			**504,300**	336,200	**168,100**
合　計	**2,929,778**	**0**	**0**	**2,929,778**	**745,583**	**2,184,195**

5.　借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

（単位：円）

科　目	期首残高	当期借入	当期返済	**期末残高**
役員借入金	600,000	0	200,000	**400,000**